

教材名 おれたものさし（東書 小学校 新しいどうとく 2年）

1. 本教材について

キャラクターの「ともだちがほんとうのことをごまかそうとしたら、あなたは どうしますか」という設問によって、この教材文は、「ものさしを折ったのぼるが、ひろしに罪を着せてごまかそうとしている物語」に限定されてしまう。しかも のぼる（力の強い集団のリーダー）は、以前にも「ぼく」に同じことをしている。その時は、多分「勇気が出なくて罪をかぶった」ぼくが、今回は友だちのために立ち上がり、口では文句を言えなかったけれど、正しいことを行動で示す、という物語となっている。これでは、「いじめをやめさせるために勇気をもって、ぼくと同じように行動できるか、できないか」の二者択一になってしまう。しかし、ぼくは、のぼるがものさしを折ったところを見ていないし、以前の「下敷き」のてんまつもないことから、最終ページを除くP63～64までを中断読みすることで、児童はこの物語を「いじめ」に限定せず考えることが出来るのではないかと考えた。

2. 本教材を扱う際に、特に注意すべきだと考えたこと

- (1) 善悪の判断……物差しを折ったのぼる（と仮定して）に事実を認めさせることを考える。
- (2) 親切、思いやり…友だち（ひろし）の気持ちを考え、自分に何が出来るか考える。
- (3) 友情……友だち（ひろし）を守るために、自分がどうするか考える。
- (4) 勇気……のぼると仲間たちに、ひろし自身が立ち向かうことを考える。以前のぼくの問題を解決することを考える。
- (5) 正義……のぼるとなかまたちの行動をどうするのか、考える。
- (6) 公正・公平……のぼるが物差しを折ったところをぼくは見ていないことから、誰が壊したのか確かめる方法を考える。
- (7) 学校生活……先生に相談するなど、第三者の助けを求める方法を考える。

3. 指導課程

自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりすることを通して、問題にはいろいろな見方や解決の方法があることに気付く。

| | 子どもの活動や教師の発問など | 留意点 |
|----|---|---|
| 導入 | ◎教室で、だれかが物を壊したことはありませんか？そんな時、あなたは どうしますか？ ○教材文を読む（P63～64 まで） ◎気になったこと、気づいたこと、自分が同じことをすると思ったこと、自分はずかしい、自分ならこうすると思ったことを見つけ、その「わけ」も考えよう。 | 「いじめ」に焦点化させず、読んだ範囲の教材文に関わる出来事を想起させる。 ・キャラクターの設問はとくに見せない。 ・最終ページは、隠しておく。 |

| | | |
|----------------|---|--|
| <p>展 開</p> | <p>○プリントの本文にサイドラインを引き、「わけ」を（ ）に書き込む。 〈予想される反応〉 ○「おまえがおったんだろ、これ」（何があったのかな。ひろしがおったのか？のぼるがおったのに、ひろしのせいにしてているのか？） ○のぼるのなかまたちが、つぎつぎにはやしたてた。（みんなが見てたのか？みんなで言うことないのに。のぼるのなかまが、ひろしが逆らえないようにしている。みんなに言われると、いやだ。怖い。） ○ひろしは、おれたものさしをもたされて、いまにもなきだしそうにしている。（かわいそう。たすけてあげたい。誰がやったのか、確かめた方がいい。先生を呼びに行こうか。） ○ぼくはむねがどきとした。（ぼくのときも同じだった。あのときものぼるがやったのか。） ○みえちゃんの下じきをわったのはのぼるだったのに。（のぼるに違いない。ぼくも何もやっていなかったのに。自分じゃないとぼくはどうして言えなかったのだろう。） ○ひろし、きみはなにもやってないだぞ。ものさしをもどすんだ。（勇気を出して。ぼくはできなかつた。ぼくができなかつたのに、ひろしにやれというのは変だと思う。） ○ぼくは、こころの中でさげんだ。（のぼるに、ちゃんとやった方がいい。ぼくも一緒に言ってあげようか。ぼくは、勇気が出なくて言えない。） ＊グループ（3から4人）ごとに友だちの意見を聞きあいましょう。 ○自分とちがう考えに、サイドライン（赤）を引く。 ＊どんな意見が出たか、全体で交流しましよう。 ○グループで出された話題を代表がまとめて発表する。他のグループで出なかつた考えに質問があれば、答える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・時間を確保する。 ・設問を見せないことで、「のぼるがやった」という限定を避けるが、その考えも否定しない。 ・「わけ」の一人称は、「自分」「ぼく」のどちらでもよい。 ・子どもの自主性を尊重し、机間指導は支援に徹する。 ・「消極的な考え」「後ろ向きな考え」も否定しない。 ・必要に応じて、論点を整理する。 |
| <p>まとめ</p> | <p>◎今日の学習の中で気づいたことや思ったことをワークシートに書きましよう。 <観点> ・自分が考えたこと ・他の意見を聞いて変わったこと ・学習の中で、初めて気づいたこと ・共感できる友だちの意見 など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・どのような観点でまとめたのかわかるように、ワークシートを工夫する。 ・時間を確保する。 |

| | |
|---|-----------------------------|
| <p>*教科書最終ページ（P65）を範読し、教科書以外のいろいろな考え方や解決方法を出すことができたのを認め、学習したことに満足感を感じられるようにする。</p> | <p>・教科書が「答え」でないことをおさえる。</p> |
|---|-----------------------------|

4. 参考資料